

全国の専門学校や工業高校などの生徒・学生らがものづくりの技能を競う第19回若者ものづくり競技大会で、秋田市の秋田コアビジネスカレッジ情報システム科2年の菅原隆心さんがウェブデザイン部門で銀賞となった。

若者ものづくり 競技大会

ウェブデザイン部門では、架空のゲーム制作会社



ウェブデザイン部門で銀賞となった菅原さん（左）とウェブデザイン部門で銅賞に選ばれた阿部さん（秋田コアビジネスカレッジ提供）

デザイン部門銀賞に選ばれた。同科2年の阿部達也さんがグラフィックデザイン部門、同市の秋田工業高校建築科3年の武石梁さんが建築大工部門で銅賞をそれぞれ受賞した。

菅原さん（秋田コアビジネスカレッジ） **銀**

阿部さん（秋田コアビジネスカレッジ）・武石さん（秋田工業） **銅**

報を伝えられているか、画面配置が適切かなどが評価の基準となった。「不具合のない機能的なサイトを制作できた」と菅原さん。シンプルでデザインに黄色のアクセントを加え、利用者の目を引くための工夫を施したという。

グラフィックデザイン部門では、大会開催地の群馬県を宣伝するロゴやポスターを制作。ターゲットとする性別や年齢層などを指定され、デザインの技能やアイデアを競った。阿部さんは、湯煙をモチーフにした緩やかな曲線を使っ

た。メインの文字を大きくして、周りの写真とのめりはりをつけることを意識した。今回の受賞が自信につながったと笑顔で話した。

した。建築大工部門は、縦横45センチ、高さ35センチの屋根の模型制作と製図が課題となった。木材のかんながけや加工も行い、模型全体の出来栄や製図の正確さを競った。武石さんは「かんが

けがうまくいき、正確な模型を作ることができた。緊張せず、楽しみながら課題に取り組めた」と振り返った。

このほか、北秋田市の農業技術専門学校住宅建築科2年の佐藤光さんが建築大工部門敢闘賞に選ばれた。大会は厚生労働省と中央職業能力開発協会が主催。7月31日と8月1日に群馬県で開かれ、電気工事や自動車整備など15部門に各県の代表354人がエントリーした。（山澤陽立）



建築大工部門で銅賞となった武石さん